

令和6年度第2回 羽曳野市地域包括ケア推進委員会（議事概要）

【 開催日時、場所 】

- ・日時：令和7年1月20日（月） 14：00～14：55
- ・場所：羽曳野市役所 別館3階会議室

【 出席者等 】 ※敬称略

- ・第9期委員：和泉京子、調子和則、大友友希、笠原由美子、徳村 初美、高木 章子
浦田 崇、堀脇芙美子、山下勝己、上野美紀
- ・事務局：介護予防支援室 尾久
地域包括支援課 田中 小川 宮岡 竹内
高年介護課 菊地

【 議題 】

1. 委員長挨拶
2. 羽曳野市東圏域地域包括支援センターの開設について
3. その他

【 配布資料 】

- ・会議次第
- ・羽曳野市東圏域地域包括支援センター運営業務公募型プロポーザル募集要領
- ・羽曳野市地域包括ケア推進委員会要綱
- ・企画提案書（閉会后回収）
- ・羽曳野市3圏域担当図（人口、高齢者数、後期高齢者数、介護認定者数、世帯数等）
- ・評価基準表

【 議事概要 】

1. 事務局（司会）

挨拶、欠席者の報告、資料の確認等

2. 「配布資料及び会議次第」に沿って事務局、各圏域地域包括支援センターより説明・報告

- ・羽曳野市東圏域地域包括支援センター運営業務公募型プロポーザル募集要領
- ・企画提案書

3. 質疑応答

委員：法人として介護予防について頑張っており、業務委託について問題ないとする。今後の要望として、地域特性を踏まえた地域包括ケアの推進を市の責務として取り組んでいただきたい。人材育成の所で問題が起こっていないか。委託した後の支援をしっかりと行ってほしい。

事務局：市においては基幹型地域包括支援センターを配置し、機能強化と同時に委託包括を支援していく。また、権利擁護や認知症施策については引き続き市が率先して展開していく。育成については、同行訪問等伴走型支援を行うなどで支援していく。

委員：開設の準備状況は？

事務局：保健師 1 名が確定。社会福祉士は面接等採用に向けて面接を実施中。主任ケアマネは法人内の配置転換等を検討していると聞いている。

委員長：人員配置について、引き続き確認すること。

委員：企画提案書 P19 のセンター職員予定者の有資格に、『認知症介護指導員』『コグニサイズ指導者』とあるが、既存の地域包括支援センターにも在籍しているのか？圏域で対応が違うということになりかねず、整合性をどう補ってしていくのか？収支計画書について、委託料はこの金額で決まっているのか？また、介護予防支援費及び介護予防支援業務委託料の金額が令和 8 年度に大きく増えている要因は？

事務局：既存の地域包括支援センター職員の有資格を全て把握していない。今後把握に努めていくが、有資格について統一する方向では検討していない。委託料については、第 9 期高年者いきいき計画に沿って予算立てしている。収支報告については、市のセンターで担当している介護予防ケアプランを半年かけて引き継いでいくため、令和 8 年度はその分増額となっております。

委員：認知症対策やコグニサイズ等の介護予防は大切なことであり、地域ごとの差が大きくなることは問題と捉えてほしい。市として、統一感、サービスの平均化について考慮して推進してほしい。圏域地図を見ると高齢者人口等に差は少ないが、東圏域は市の半分の面積を占める。高齢者人口が増加していく予測に合わせ、委託料が適正か検討することを要望する。

委員長：資格を生かした取り組みを全体で共有し、より良い地域ケア推進を行ってください。

委員：収支報告書の通信費 3 万円や旅費研修費等支出が少なく感じるが？

事務局：通信費については法人内での兼ね合い。研修費等は、必要な分は市が予算立てしている。大阪府や市の研修は基本無料であり支出は少なくなっている。

委員長：金額が適正かどうかは今後も確認していくこと。

委員：受託先法人が医仁会ということで、在介等を長年担っている法人であり好意的に思っている。今後、3つの包括支援センターがどう連携していくのかが胆と考えている。そこで、懸念していることがある。委託費は一定だが昇給等で人件費は年々増加していく。今後の情勢を踏まえて人件費の適正金額を検討していただければと意見する。

委員長：今後、受託先の運営も考えて検討を続けていくこと。

委員長：議案について承認とする。事務局は今回の意見を踏まえ進めていくこと。